

## 心齋橋駅(地下鉄御堂筋線・長堀鶴見緑地線)②

## 古代は港! アメリカ村の歴史を知る

四ツ橋駅(地下鉄四つ橋線)

「大阪あそ步マップ集」  
その1 No.023

## 地下鉄心齋橋駅

大阪の若者が集うアメリカ村の歴史は非常に古く、仁徳天皇のころまでさかのぼるとか。知られざるアメリカ村の歴史を求めて、心齋橋から四ツ橋を経てアメリカ村へ向かいましょう。

## ①旧町名継承碑 北炭屋町

- 長堀川、西横堀川の水運を利用して銅吹屋や炭問屋が集積したことが町名の由来です。しかし幕末期には日本の銅山発掘量の減少で銅産業は斜陽化し、次第に材木屋などの倉庫が置かれるようになりました。

## ②四ツ橋跡

- かつては西横堀川と長堀川が交差し、四ツ橋が井字形に架かる浪花名所でした。四ツ橋より西の長堀川岸は「材木浜」と呼ばれ、材木問屋が軒を連ねていました。

## ③大坂屋銅吹所跡

- 17世紀、日本は世界有数の産銅国で、その生産流通を独占したのが大坂の銅吹商で、生産量は鰻谷の住友銅吹所が1位、炭屋町の大坂屋銅吹所が2位を占めていました。その大坂屋があったのが当地です。しかし慶応3年(1867)、幕府終焉とともに事業から撤退しました。

## ④VAN創業の地

- 東京五輪の日本代表選手団の赤いブレザー、国鉄、警視庁、日本航空のユニフォームをデザインするなど「メンズファッションの神様」と呼ばれた石津謙介が、VANの前身の石津商店を創業したのが北炭屋町14番地です。

- 1960年代には爆発的な「アイビーブーム」を起こし、若者のライフスタイルに多大な影響を与えました。

## ⑤喫茶店「Loop」跡

- 昭和44年(1969)、「アメリカ村のママ」と呼ばれた日隈萬里子が「夜遅くに熱いコーヒーが飲みたい」と開店。デザイナー、サーファーなどが出入りして、彼らはアメリカ西海岸の古着や中古レコードを持ち寄り、やがて周辺にあった安い木材倉庫を改造して、輸入雑貨店やサーファーショップを開き、これがアメリカ村発展のきっかけです。

## ⑥三角公園

- 西船場の北堀江通と、船場の周防町筋の食い違いを矯正するために、明治以降に斜行道路が通されて三角形のスペースが生まれました。戦時中は防火水槽や飯場が設置されていましたが、戦後、児童公園となりました。



## ⑦御津八幡宮

- アメリカ村を含む島之内の氏神です。古代にはここまで海が迫り、難波に都を置いた仁徳天皇(御門)の港(津)があったので「御津」です。遣唐使が船出した難波津も当社付近といわれ、古代の大陸文化の輸入地帯が、現在はアメリカ文化の輸入地帯＝アメリカ村になっています。



地下鉄心齋橋駅

